新まんてんてらこや（第14回）

生活への影響の予告は災害への備えを促進するか？

― 鉄道の計画運休に関するメッセージの防災効果 ―



講師：城下英行　関西大学社会安全学部 准教授

[日時] 2026年12月6日（日）13時30分～15時

[会場] 京都大学 阿武山観測所（NPO会員はオンライン視聴可）

[申 込] contact@npo-abuyama.org 宛メールで直接お申込下さい

「まんてんてらこや参加希望」，氏名（複数人可），当NPO会員か非会員かを明記しお送り下さい

[参加費]一般500円（当日，受付でお支払い願います．NPO会員は無料）

[アフタータイム] 講演終了後約30分間，希望される方は講師や観測所メンバーと講演内容やNPO活動についてお気軽にお話し頂くことができます

[問合せ] contact@npo-abuyama.org

「新まんてんてらこや」は，地震学や防災学について，最新の研究成果や役立つ話題をわかりやすくお伝えする講演会シリーズです．以前開催していた「公開講座」を衣替えし，京都大学防災研究所地震災害研究センターの協力の下，「NPO法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム」の主催で3ヶ月に一度のペースで開催しています．多くのみなさまにご参加頂ければ幸いです．

最近の開催履歴：

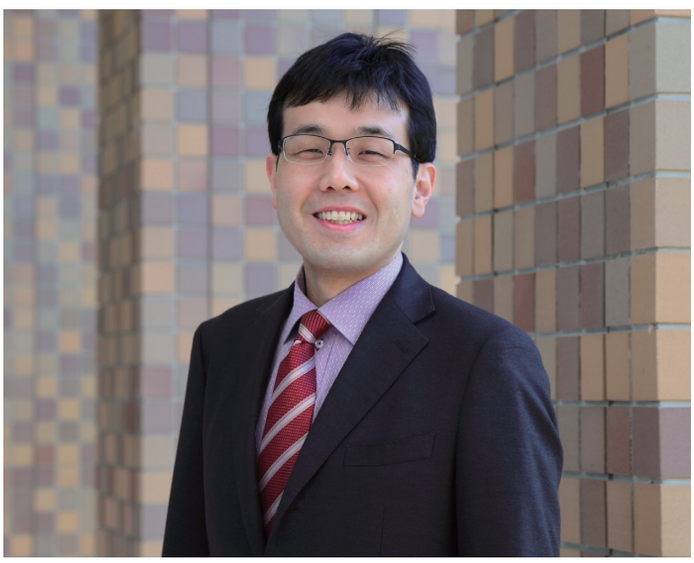
第10回：2025年12月7日　世界の人々は災害をどう見ているのか　京大防災研・中野元太
第11回：2026年3月1日　地下から火山を読む　京大防災研・畑真紀
第12回：2026年6月7日　次の南海トラフの巨大地震に備える　京大防災研・伊藤喜宏
第13回：2026年9月6日　深層学習が拓く地震カタログ化の新時代　京大防災研・加藤慎也

主催：NPO法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム　後援：高槻市

新まんてんてらこや 第14回

生活への影響の予告は 災害への備えを促進するか？

―鉄道の計画運休に関するメッセージの防災効果―



講師紹介:

城下英行（しろしたひでゆき）
関西大学社会安全学部　准教授

略歴:

2010年　京都大学大学院 社会情報学専攻 博士後期課程修了
　　関西大学社会安全学部　助教
2015年～　関西大学社会安全学部　准教授
2019年～　Avoidable Deaths Network　共同代表
2021年～　NPO法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム　理事

研究分野：防災学習論

講演概要:

沖縄県の24時間営業のスーパーマーケットチェーンが，台風の接近に伴って休業したことがあります．その際SNS上では，普段は休業しないスーパーが休業するのだから相当な台風が来るのではないか，と話題になりました．この事例は、私たちが災害をハザード（自然の力）そのものだけでなく，生活への影響との関連でも理解している可能性を示唆しています，そうだとすれば，物理的な被害が発生していなくても，休業や公共交通機関の運休といった生活への影響は，災害の兆候として受け止められるかもしれません，その場合、生活への影響の予告には、相当の防災効果を期待できます．

本講演では，そうした予告の例として鉄道の計画運休を取り上げ，そのメッセージが災害への備えを促進するかを検討した結果を紹介します．

NPO法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアムは，京都大学阿武山観測所がこれまで取り組んできた「地震サイエンスミュージアム」活動を，「オープンサイエンス」運動としてさらに発展させたいと考え，2021年4月に設立しました．

当法人は，正会員，準会員，賛助会員を募集しています．どなたでもご入会いただくことが可能です．会員には，講演会の参加費が無料になるなど，様々な特典があります．詳しくはホームページをご覧下さい．

・車イスでの参加も可能です．お問い合わせ下さい．



特定非営利活動法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム
所在地：〒569-1041 大阪府高槻市奈佐原 944
京都大学防災研究所阿武山観測所内
https://npo-abuyama.org